

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S11 -	施策名	地区社会福祉協議会の推進		
担当部課	福祉部福祉課	関係部課			

基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 人がいきいきとつながるまち
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～
	第6次総合計画・基本目標	✓ 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち
	法定受託事務の有無	—
	その他(関係計画、要綱等)	✓ 長久手市地域福祉計画
施策開始の背景、経緯等	少子高齢化人口減少社会を見据え、子ども・高齢者・障がい者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいと共に創り、高め合うことができるよう、市民に身近な圏域において、地域力向上の推進とともに、「地域共生社会」の実現に向けた事業を実施する	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 地区社協を設置し、地域課題を市民が主体的に解決を試みる体制づくりと市民が把握した課題について、包括的に受け止め、必要に応じて支援機関につなぐことのできる体制を構築する
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市民
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民が主体的に地域生活課題を把握して、自ら解決を試みることができる。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①		各小学校区ごとに地区社協及びCSWの配置							
	29年度(2017)		30年度(2018)		元年度(2019)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	市ヶ洞小学校区及び南小学校区においてCSWを配置した。(西・北は設置済み)		長小校区及び東小校区に地区社協の設置に向け、地域との懇談会を実施した。		長小校区及び東小校区に地区社協及びCSWの設置		部会活動を通じて、主体的に地域生活課題を把握する		部会活動を通じて、主体的に地域生活課題を解決できる	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	地域力強化推進事業委託	2,122千円	地域力強化推進事業委託	32,149千円	地域力強化推進事業委託	42,904千円	地域力強化推進事業委託	43,000千円	地域力強化推進事業委託	43,500千円
	市民参加数・実績		市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ)	100人	(延べ)	1,853人	(延べ)	2,000人	(延べ)	2,500人	(延べ)	3,000人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②		福祉のなんでも相談及び声かけネットワーク協力事業							
	29年度(2017)		30年度(2018)		元年度(2019)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	CSWによる地域の課題を包括的に受け止める相談事業の実施		CSWによる地域の課題を包括的に受け止める相談事業の実施		地域の課題を包括的に受け止め、地域で解決に取り組むよう話し合いの場づくり		要支援者に対して、日頃から、身近な市民同士が支える仕組みづくりを行う。目標 6地区		要支援者に対して、日頃から、身近な市民同士が支える仕組みづくりを行う。目標 10地区	
	費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・実績 (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)		費用・見込み (細々節名) (金額)	
	地域力強化推進事業委託	2,122千円	地域力強化推進事業委託	32,149千円	地域力強化推進事業委託	42,904千円	地域力強化推進事業委託	43,000千円	地域力強化推進事業委託	43,500千円
	市民参加数・実績		市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ)	人	(延べ)	人	(延べ)	人	(延べ)	人	(延べ)	人

環境変化	他市町での取組状況や施策を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成29年に社会福祉法が改正され、住民に身近な圏域において市民が主体的に地域生活課題を把握し解決を試みることができる環境の整備等が市町村の新たな努力義務とされた。
------	-----------------------	---

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 事業の一部を社会福祉協議会に委託とし、市と協働で地域課題に対応できる仕組みづくりに取り組む体制を強化した。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 全ての人が安心して暮らせるよう、市民・団体・事業者・行政など、多種多様な主体が連携して地域づくりをする体制の構築が必要。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) CSWが地域での調整役となって、地域で中心となって活動する人材の発掘や市民同士の組織化が課題である。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 地区社協と行政が連携し、地域力強化のための取組を推進していくため、福祉分野のみならず多分野の部局とともに地域へ出向き、地域との話し合いの場を設けていくことが必要。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	・(各小学校区にCSWが設置されているが)CSWへの負担軽減を検討してください。